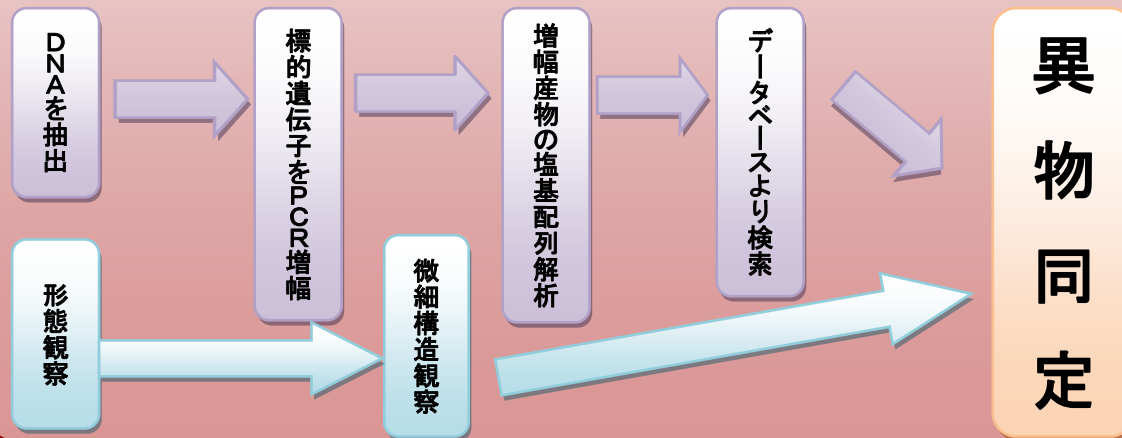


<動物異物もDNA解析メニューに加わりました。>

異物の同定は、従来から形態学的特徴（外観）を指標とした方法で行われており、専門の知識と高い熟練が必要とされます。また、異物が破片であったり、焦げていたりすると、正確な同定が困難な場合があります。

弊社では、従来からの植物異物の同定に加えて、DNA解析による動物異物の同定サービスを開始致しました。本方法は、動物異物から抽出したDNAを動物異物同定用プライマーを用いてPCR増幅を行い、データベースと照合して同定するものです。DNA解析と形態観察を組み合わせることで、より精度の高い報告が可能となりました。

本方法では、哺乳類の他、エビ・カニ類、イカ・タコ類、貝類、魚種、ミミズ類などの動物について種を同定することが可能です。



株式会社ハウス食品分析テクノサービス

〒284-0033 千葉県四街道市鷹の台 1-4

TEL : 043-237-5676 FAX : 043-237-2912

- ・実績例（抜粋）：ウシの血管、ブタの肉片、トリの骨、マダコの一部、サケの身など
- ・異物重量として、**25mg程度**あれば実施可能です。検体によっては更に少量でも分析可能な場合があります。
- ※異物の状態によっては、PCR産物が得られない場合があります。この場合、上記の抽出操作代を頂戴致します。ご了承ください。



外観だけでは同定が難しい動物異物の例

その他の情報は弊社ホームページアドレスでご確認下さい
<http://food-analab.jp/>

House Food Analytical Laboratory Technical Report 46. 2014.6.17

異物バンク®は、ハウス食品分析テクノサービスの登録商標です。